

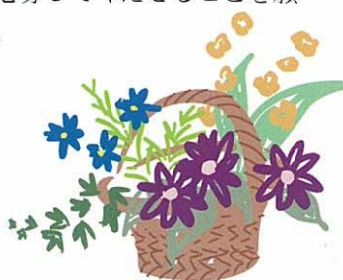
花はな通信

花のまちづくり情報 Vol.4

花のまち恵庭。ようやく花が咲き誇る季節を迎え、多くの市民の方々が、思い思いのガーデニングや個性的な庭づくりを楽しみ、まちは花で彩られるようになってきました。初夏の日差しの中、外に散歩に出て、色とりどりの花に目をとめ、美しくガーデニングされた庭をながめるのは、とても気持ちがなごみます。

花のまちづくり推進会議は、恵庭市内すべてを対象にフラワーガーデニング・コンテスト「はなかざびと花風人」を実施します。「はなかざびと花風人」は、花のまちづくりプランの基本の考え方「花もよし、風もよし、人もよし。ここが恵庭。」をシンボル化したものです。ガーデニングは、ひそかに楽しむものと思っている方も多いかもしれませんが、ひとたびガーデニングされ花で彩られた庭や通りは、多くの人が見たいもの。それがまたガーデニングの醍醐味だと思います。

フラワーガーデニング・コンテスト「はなかざびと花風人」は、花のまち恵庭にふさわしいガーデニングが一層活気づく一助になればと願っています。多くのガーデニングに興味をもたれている皆様、またステキな花の庭を見つけ、その情報を寄せてくださる方も、このコンテストに多数応募して下さることを願っています。



あなたがステキと思っている花の庭も推薦してください

あなたの花の庭をエントリーしませんか

第1回

恵庭フラワーガーデニング・コンテスト「はなかざびと花風人」

応募期間

平成13年7月2日(月)～7月19日(木)

応募方法

ご自分で花の庭をつくっている方、またステキな花の庭を推薦したい方が、応募用紙に必要事項を記入し、事務局へ提出することでエントリーがなされます。ファックス及び郵送、また電話で必要事項を述べていただいても受付けます。

応募用紙

市役所花と緑の課、市役所支所及び出張所、情報サロンにしています。

応募対象部門

- I 個人のガーデン部門
- II ストリートのガーデン部門
- III 企業・工場ガーデン部門

賞

- 花風人グランプリ
オリジナル・プレート及び賞状(各部門3組)
- 花風人賞
園芸グッズ及び賞状(各部門3組)

なお、エントリーされたすべての個人、団体及び推薦していただいた方を対象に、抽選で30名に記念品を差し上げます。ただし、花風人グランプリ及び花風人賞を受賞された個人と団体は除きます。



花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭。

第12回 恵庭・花とくらし展

今年で12回目をむかえる恵庭・花とくらし展。今回は、これまでと少し変わり、第1ステージ、第2ステージの2回に分けて行います。第1ステージは展示や講習会を主に、第2ステージは初めてのこころみとして花と緑に彩られた恵み野中央公園野外音楽堂を舞台に次のとおり行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

第1ステージ

と き

平成13年6月23日(土) AM10:00~PM7:00(展示時間)
6月24日(日) AM10:00~PM4:00(展示時間)

ところ

恵庭市民会館

内 容

実際に作品をつくる講習会や丹精込めてつくった各種の作品展を行います。

講習会の受講には申込が必要ですが、見学は自由です。

講習会(パンアート、ドライフラワー、押し花、アレンジフラワー)

展示会(パンアート、ドライフラワー、押し花、アレンジフラワー、生け花、盆栽、花の絵画、花のちぎり絵、花の写真)

第2ステージ

と き

平成13年7月14日(土) AM10:00~PM5:00
7月15日(日) AM10:00~PM4:00

ところ

恵み野中央公園野外音楽堂周辺

内 容

- ・花の寄せ植えコンテスト(14日審査、15日結果発表)
- ・フラワーマーケット(2日間)
- ・フリーマーケット(2日間)
- ・ガーデンツアー(2日間、1日4便図書館前より)
- ・ガーデニング・園芸相談コーナー
(2日間、10時~12時、13時~15時)

・ステージ出し物

【14日プログラム】

- 寄せ植え講習会
(11時~12時、当日受付、受講料1,000円、雨天中止)
- 「花の妖精コンテスト」(13時~14時30分、雨天時翌日10時)
- 恵庭少年少女合唱団公演(14時30分~15時、雨天中止)
- 花のお楽しみ抽選販売(16時~16時30分、雨天翌日実施)

【15日プログラム】

- プチハンギングバスケット講習会(10時30分~11時30分、当日受付、受講料1,000円、雨天中止)
- 「アマチュア演奏家大会」(12時30分~14時30分、雨天中止)
- 恵庭北高校ブラスバンド演奏(14時30分~15時、雨天中止)
- 花のお楽しみ抽選販売(15時30分~16時、小雨決行)

※15日には、「生涯学習国際シンポジウムin恵庭」(テーマ:花で広がる街づくり~みんなでつくろうわがふるさと~;恵庭商工会議所主催)が9時15分から17時まで、恵庭リサーチ・ビジネスパークセンタービルで開催されます。シンポジウムには、ニュージーランドのティマル市長やクライストチャーチの美化協会の代表の方も参加します。さらに特別講演にはテレビ、ラジオでおなじみの佐藤のりゆきさんもやってきます。



申込み・問合せ先

恵庭花のまちづくり推進会議

事務局/恵庭市建設部花と緑の課(33-3131 内線2524・2525)

花壇づくりにこめる情熱



松山 宗孝さん
文京町在住

ぶんきょう公園の花壇は、花いっぱい文化協会の花壇コンクールで高い評価を受けています。この公園の花壇づくりを支えているのが、松山さん。花づくりはからだを動かせて、健康にいいので好きという松山さんに、公園の花壇づくりにかける熱い思いを聞きました。

私は、文京町に住み、町内会の環境衛生部長になってから公園の花壇づくりに関わるようになりました。公園の花壇は、花いっぱい文化協会の花壇コンクールの審査を受けますので、やはり入賞したいという思いから、この数年町内の皆さんとともに土おこしを繰り返し、花苗を植え、管理をしてきました。花は、水やりや花柄つみ、それに草取りをしないと、すぐに生彩を欠いてしまうので、自宅から花壇のあるぶんきょう公園まで自転車を使うような距離なのですが、その作業を日課にしてみました。

花のことは、私は素人です。しかし、花壇づくりに携わるようになってから、デザインを描くことが必要になりますので、他の町内の公園花壇を見に行ったり、花の講習会があれば、そうしたところに顔を出し、花づくりの勉強をするようにしています。花いっぱい文化協会は、

年一度研修旅行を開催していますが、これはよその町の花壇や施設を視察できるので、また多くの花好きな方とも知りあえるので、私はいつも楽しみにしています。

花は、自宅でも、温室で苗を育て、それを庭に地植えしたり、古タイヤを利用したプランターに植えこんで、春、夏、秋と季節ごとに楽しんでいます。私は、パチンコもやらないから、花づくりが自分の贅沢な趣味。これからも続けていきますよ。



ぶんきょう公園花壇

恵み野住まい塾

クライストチャーチ・ツアーに参加して

今年2月23日から7泊でクライストチャーチ、花のまちづくりツアーに8名で旅立った。みんなが花好きなのは言うまでもないが、まちづくりを学びたい気持ちも大きかった。機内から臨んだクライストチャーチの風景は想像していた緑豊かなガーデンシティにはほど遠く、茶色のはげ山が一面を覆っていてみんなは唖然とした。クライストチャーチは、元々在来の植物は乏しく、150年前に入植したイギリス人がこの地をガーデンシティにするという高い志をもって世界中から植物を集め現在の姿となっている。クライストチャーチの街並みは、塀が低く平屋が多い。家は敷地からセットバックされていて芝生の中の建物に沿った所に木が植えられお花畑がある。この演出はまさしく外を通る人たちを意識した花飾りになっている。ここの人たちは、車を買うような感覚で家に移り住むという。庭を綺麗にして資産価値を高める目的の人もいるとガイドさんが話してくれた。カンタベリ

恵み野在住/美しい恵み野
花のまちづくり推進協議会事務局長

内倉 真裕美



一園芸協会ではボランティア4,000人を抱えて街の美化運動や資金集めをしている。自分たちの街に誇りをもっているからこそ街のために尽くす。クライストチャーチの人々は大らかで質素な生活だが、生活の意識はきわめて高い。みんなが決めたことはきちんと守る。こうした一人ひとりの意識の高さがガーデンシティといわれる街をつくりあげたのだろう。

花のまち

花を育てることから見いだしたもの

花の美しいシーズン。ふと立ち止まって見入ってしまう中村さんの庭。そこでは、中村さんが花を育てる世話をしているのをよく見かけますが、挨拶をすると笑顔でこたえてくれるのが印象的です。中村さんの花のある暮らしをうかがいました。

私が花づくりをするのは、花が私を後押してくれるからなの。それと、私の家の前を通る方が、庭の花を見て「心がなごみます」と言ってくれるのが本当に嬉しいわ。中には、わざわざこちらの通りを選んで散歩していると声をかけてくれる方もいて、私の花づくりを喜んでくださる方がいるということに、充実した気持ちをおぼえます。

私は、若いときから花づくりをしているのでしょうと言われるけど、花づくりに関心をもち始めたのは、この恵み野に住みはじめてからです。10数年にしかありません。お隣の方からパンジーをいただいて、それをプランターに

植え、思うままに塀の上において並べてみました。すると、とってもステキな感じになり、いろいろな方がそれを見てくれるようになりました。それからですね。プランターに花を育てることに夢中になったのは。

私は、外に出かけることが少ないので、体調がいいときは、花を育てて一日をすごしています。花づくりは、体力が必要なこともありますし、健康でなければできないということを、身をもって知っています。でも、私は毎年いつも精一杯を心がけているの。今年もどこまでできるかはわからないけれど、プランターに花を育てるだけでなく、花壇づくりも試みながら、花のある庭づくりをいそしみたいと思っています。



よねこ
中村 米子さん
恵み野在住



(中村さん宅前庭)

とじて保管しましょう。

フラワーマスターの花便り

杉若 圭二(恵み野在住)

宿根草のすすめ

長い鬱憤を晴らすかの様に、家の周りにはそれほど爆発的に溢れる花。ガーデニングの街ならではの風景です。でも、最近、少々気になることがあります。

ガーデニング技術が上がるにつれ、植え込む花の数が増えるのは当然のことなのですが、同じ風景の庭が多いと思いませんか。これは、同じ様なコンテナに同じ様な花を同じ様に詰め込んだ結果なのです。コンテナや飾り方を一寸工夫するだけでも、ある程度は個性的な庭になります。でも、さらに個性的な庭を目指したい方には宿根草を多めに使うことをおすすめします。一般的な一年草と比較すると開花期が短い、植物のボリュームの割合には花が少ない等の問題はあります。でも、こうした欠点は一年草を併用することで補えますし、それに短所を補って余りある宿根草の素晴らしい長所があります。それは変化が楽しめること。春の芽吹き、夏の成長、開花、そして秋からの休眠。単に家の周りを花で飾り立てるのではなく、巡り来る季節を植物の変化を見守りながら、植物と一緒に生活していくのがガーデニングではないでしょうか。宿根草は地植えが基本ですが、大きめのコンテナでしたら大丈夫なので、是非とも使っていただきたいものです。

発行

恵庭・花のまちづくり推進会議

北海道恵庭市京町1番地

恵庭市花と緑の課内

TEL(0123)333131 FAX(0123)333175

発行日:平成13年6月15日